

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2013年第19号(週報・月報合併号)

2013年第19週(5月6日~5月12日)、月報4月

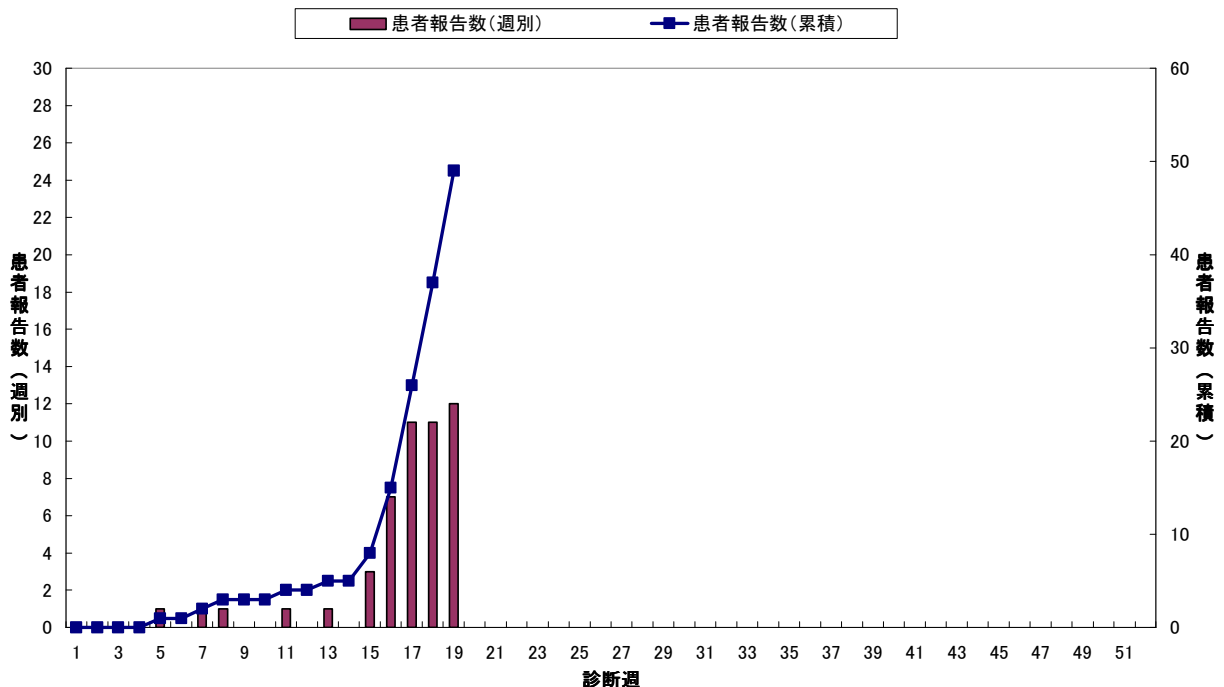
◆ ◆ 注目すべき感染症の動向 ◆ ◆

一 風しん : 累積患者報告数は49人に。和歌山市以外の保健所管内でも報告数が増加 一

風しんは、風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症で、流行は春先から初夏にかけて多くみられます。潜伏期間は2~3週間で、主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れが認められます。

和歌山県では第19週までの累積患者報告数が49人となっています。特に和歌山市保健所管内では34人と最も報告数が多いですが、和歌山市以外の保健所においても報告が増加しています。保健所別に見ると、第19週における報告数は和歌山市が5人、湯浅が3人、御坊が2人、海南及び田辺保健所管内で各1人となっています。今後も報告数が増えることが予想され、注意が必要です。

風しん(和歌山県)



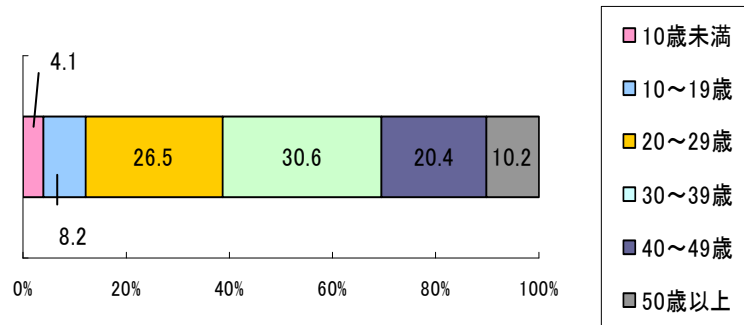
男女別では男性が39人、女性が10人となっています。年代別では、30代が30.6%と最も多く、20～40代で約78%を占めています。

国立感染症研究所感染症疫学センターの感染症発生動向調査によると、全国の第18週までの累積患者報告数は5964人（第17週：5442人）となっています。患者の7割以上は男性で、うち20代～40代が8割以上を占めています。特に首都圏と近畿地方の報告数が多くなっています。

保健所別累積報告数

和歌山市	34
海南	3
岩出	2
橋本	1
湯浅	3
御坊	4
田辺	2

年代別風しん患者累積報告数の割合(和歌山県)



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児がウイルスに感染し、先天性風しん症候群がおこる可能性があります。

風しん及び先天性風しん症候群についてはこちら：国立感染症研究所HP（風しんQ&A）

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

妊娠中の女性は予防接種が受けられないため、妊婦の周りにいる方(妊婦の夫、子ども、その他の同居家族等)は、風しんを発症しないように予防することが重要となります。

【予防のポイント】

- ・風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう。
1歳児及び、小学校入学前1年間の幼児は、多くの市区町村において、無料で受けられます。
- ・下記の(1)～(3)のうち、抗体価が十分であると確認できた方以外の方は任意での予防接種を受けることをご検討ください。
 - (1) 妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族
 - (2) 10代後半から40代の女性（特に、妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い方）
 - (3) 産褥早期の女性

－ その他の感染症 －

インフルエンザ：和歌山県全体の定点当たり患者報告数は1.40人（前週：2.20人）と減少しました。前週注意報レベル基準値を超えていた新宮保健所管内でも報告数が5.67人と減少し、基準値を下回りました。

水痘：「みずぼうそう」とも呼ばれる水痘帯状疱疹ウイルスによる疾患です。季節的には毎年12～7月に多く、9歳以下の子どもが多くかかります。
橋本保健所管内では、定点当たりの患者報告数が4.50人と注意報レベルの基準値を超えています。

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症：報告はありませんでした。
- 2類感染症：結核 7名
- 3類感染症：報告はありませんでした。
- 4類感染症：報告はありませんでした。
- 5類感染症：梅毒 1名、風しん 12名

2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	124
腸管出血性大腸菌感染症	2
つつが虫病	7
デング熱	1
レジオネラ症	3
アメーバ赤痢	2
ウイルス性肝炎	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	3
後天性免疫不全症候群	6
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
梅毒	2
風しん	49

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

ありません。

注意報レベル

水痘（橋本保健所管内）

(眼科定点対象感染症)

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～
急性出血性結膜炎	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
	定当	0.75	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	0.25	0.25	-	-	-

(基幹定点対象感染症)

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
細菌性髄膜炎	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告	8	-	5	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.73	-	0.45	0.18	-	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	24	3	11	6	-	6	2	17	1
	定当	1.6	1	1.83	1	-	2	0.29	5.67	0.5
RSウイルス感染症	報告	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	2	-	-	-	-	-	2	-	-
	定当	0.22	-	-	-	-	-	0.5	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	8	-	1	1	3	3	2	2	-
	定当	0.89	-	0.25	0.25	1	1.5	0.5	1	-
感染性胃腸炎	報告	71	9	39	20	9	5	8	4	-
	定当	7.89	4.5	9.75	5	3	2.5	2	2	-
水痘	報告	10	1	9	18	-	6	3	3	-
	定当	1.11	0.5	2.25	4.5	-	3	0.75	1.5	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	3	-	3	-	3	1	1	-	-
	定当	0.33	-	0.75	-	1	0.5	0.25	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	2	…	…	…	…	…	1	…	…
	定当	0.67	…	…	…	…	…	1	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	1	-	-	-	7	-	…
	定当	-	…	1	-	-	-	3.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	1	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	0.33	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

4月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.55人となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約79%となっています。

【4月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	28	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	2	22
	定当	2.55	-	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	0.09	0.09	-	0.09	0.18	2
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2
	定当	0.36	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	0.09	0.18
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報（WIDR）2013年第19号

発行日：平成25年5月16日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。